



子宮体

ドセタキセル+カルボプラチン

催吐リスク: 3

適応疾患: 子宮体がん (進行・再発、術前・術後)

投与スケジュール: 3~4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
カルボプラチン	6 AUC	d1
ドセタキセル	70 mg/m ²	d1

パクリタキセル+カルボプラチン

催吐リスク: 3

適応疾患: 子宮体がん (進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース (6コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
カルボプラチン	5 AUC	d1
パクリタキセル	175 mg/m ²	d1

オラパリブ+デュルバルマブ《デュルバルマブ併用レジメン使用後》

催吐リスク: 1

適応疾患: 子宮体がん (進行・再発)

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
イミフィンジ (体重30kgより上)	1500 mg/body	d1
イミフィンジ (体重30kg以下)	20 mg/kg	d1
リムパーザ	600 mg/body	d1-28

デュルバルマブ《デュルバルマブ併用レジメン使用後》

催吐リスク: 1

適応疾患: 子宮体がん (進行・再発)

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
イミフィンジ (体重30kgより上)	1500 mg/body	d1
イミフィンジ (体重30kg以下)	20 mg/kg	d1

ドキシソルビン+シスプラチン

催吐リスク: 4

適応疾患: 子宮体がん (進行・再発、術後補助)

投与スケジュール: 3週1コース (3~6コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	50 mg/m ²	d1
ドキシソルビン	60 mg/m ²	d1

パクリタキセル+カルボプラチン

催吐リスク: 3

適応疾患: 子宮がん肉腫

投与スケジュール: 3週1コース (6コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
カルボプラチン	6 AUC	d1
パクリタキセル	175 mg/m ²	d1

パクリタキセル+カルボプラチン+デュルバルマブ

催吐リスク: 3

適応疾患: 子宮体がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース (4~6コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
イミフィンジ	1120 mg/body	d1
カルボプラチン	5-6 AUC	d1
パクリタキセル	175 mg/m ²	d1

パクリタキセル+カルボプラチン+ペムブロリズマブ

催吐リスク: 3

適応疾患: 子宮体がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース (6コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
カルボプラチン	5 AUC	d1
キイトルーダ	200 mg	d1
パクリタキセル	175 mg/m ²	d1

ペムブロリズマブ《ペムブロリズマブ併用レジメン使用後》

催吐リスク: 1

適応疾患: 子宮体がん(進行・再発)

投与スケジュール: 6週1コース(14コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
キイトルーダ	400 mg	d1

レンバチニブ+ペムブロリズマブ

催吐リスク: 3

適応疾患: がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の子宮体癌

投与スケジュール: 3週1コース(35コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
キイトルーダ	200 mg	d1
レンビマ	20 mg	d1~21

推奨投与量の単位

mg/m²:【体表面積】あたりの量 mg/kg:【体重】あたりの量
AUC:カルバートの式により算出 ⇒投与量(mg/body)=AUC目標値×(GFR+25)

略語の意味

NSCLC: 非小細胞肺がん
SCLC: 小細胞肺がん
PD: 病勢進行